表彰式

2018年10月28日、立命館大学歴史都市防災研究所カンファレンスホールにて表彰式を開催しました。入賞者には表彰状と各協賛・後援企業、団体から副賞（最優秀賞：防災グッズ・今治タオル・タブレット、優秀賞：防災グッズ・防水機能付デジタルカメラ、入選：地球儀・防災リュックサック、佳作：地図帳・防災ポーチなど）および参加賞（文具セットや飲料水など）が贈呈されました。続いて、入賞者による作品紹介と本学教員による講評も行われました。入賞者は、作品への思いや工夫した点などを一生懸命に発表し、本学教員はそれに答える形で丁寧に作品へのコメントやアドバイスをしました。表彰式は、入賞者、ご家族、協賛・後援企業様、本学関係者が参加し、和やかな雰囲気の中で終えることができました。

表彰式　最優秀賞授与

副賞授与

テープカット

応募者の声

- 思ったよりも危険な所が多かった
- マップを作成する上で、地域を見つめ直すことができる
- マップ作成を通じて、子どもも保護者も地域のことをよく知るようになることは、安心安全の第一歩と言える
- 自分自身の住むエリアを知る事が安全安心につながる

出張授業

「どうやって安全安心マップを作成したらいいの？」という声に答え、歴史都市防災研究所の教員や研究員が中心となって、小学校等に出向き、防災・防犯に関する出張授業を実施しています。今年も、東広島市立高美が丘小学校から依頼を受け、9月3日に当研究所の研究員（谷端研究員、酒井研究員）が5年生約90名に対して、約30分のミニ講義と約60分のフィールドワークから成る出張授業を実施しました。小学校周辺の危険箇所・安全箇所を調査するフィールドワークでは、学校周辺に多くの危険があることを確認し、生徒たちや保護者、教諭の方々と一緒に防災、防犯について考える学びの場となりました。

夏休みこども企画

2018年7月28日、立命館大学国際平和ミュージアムとの共催事業として、「クイズで学ぶ防災」を実施しました。本学近郊の小学生、中学生、保護者を含め総勢30名が参加し、クイズ形式で災害や防災について学んでいただきました。参加者からは「親子で防災に対する意識を高めることができました」、「ここで学んだことをしっかり家の備えとして実践したいです」などの反応が得られ、参加者に防災意識を高めていただくことができました。

お気軽にご相談・お問い合わせください。

安全安心マップ
かんたんマニュアル
もあります！

立命館大学　歴史都市防災研究所　事務局
〒603-8341　京都市北区小松原北町58番地
TEL：075-467-8801 ／ FAX：075-467-8825
E-mailアドレス：rekibou@st.ritsumei.ac.jp
コンテスト特集ページ：http://www.r-dmuch.jp/jp/project/mapcontest/index.html
開館日／月～金　9時30分～17時00分［土・日・祝および休館日除く］

立命館大学歴史都市防災研究所では、小学生を対象として地域の安全安心への関心を深めてもらうことを目的に、2007年から「地域の安全安心マップコンテスト」を毎年開催しております。この事業は、小学生、保護者、ご家族、地域住民、教員など子供と大人が一緒になって地域を調べ、マップを作成しながら皆さんで地域の安全安心を考えてもらえるよう、大学の社会貢献活動の一環として取り組んでおります。今年も多くの方々に支えられて12回目を迎えることができました。この場を借りて心より御礼申し上げます。なお、本紙において第12回の事業内容をご報告させていただきます。皆様の日頃のご活動や今後のマップ作りの一助となれば幸いです。

第12回「みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」概要

2018年8月20日から9月28日までの募集期間に、全国から57点（個人50点、グループ7点）の応募があり、総勢73名の小学生に参加いただきました。応募地域は、京都府のみならず、群馬県、愛知県、三重県、石川県、広島県、愛媛県、そして福岡県と全国各地に及びました。どれも大変魅力的な作品で審査にはかなりの時間を要しましたが、9名の審査委員による厳正なる審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作5点の入賞作品10点を選出いたしました。また今年も、入賞作品のうち7作品を国土交通省国土地理院主催の「第22回全国児童生徒地図優秀作品展」へ推薦いたしました。その結果、本コンテストで最優秀賞に輝いた「道後安全マップ」が、「奨励賞」を受賞しました。

主　催：立命館大学歴史都市防災研究所
協　賛：株式会社パスコ、日本ミクニヤ株式会社、Fレンタリース株式会社、株式会社帝国書院、第一通商株式会社、株式会社ネスト・ジャパン、NPO法人災害ボランティアステーション日本、マツモラ産業株式会社、株式会社宝水、セコム株式会社、株式会社柴橋商会（順不同）
後　援：国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞、KBS京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、一般社団法人人文地理学会、立命館地理学会、京都府警察（順不同）

最優秀賞　3年生・愛媛県松山市

道後安全マップ

応募者のコメント

2018年7月西日本ごう雨で、ひなん勧告が出たので、ひなんしました。その時に、いつもは安全な場所が土砂くずれを起こしたり、水があふれて危険でした。僕が住んでいる道後は、たくさんの観光客でにぎわう日本最古と言われる道後温泉があります。道後のどこが危険なのか、どこにひなんするのか、などを調べて、今後、災害が起きた時に参考になるように「道後安全マップ」を作りました。

講評

自身の被災経験が書かれており、内容に説得力があった。加えて自分の体験や気づきに基づきながら、イラストなどを入れて見やすく上手にまとめている力量も高く評価した。

国土交通省国土地理院主催
「第22回全国児童生徒地図優秀作品展」にて、「奨励賞」を受賞しました。

優秀賞　6年生・京都府京都市

歴史と観光のまち紫野 –ユニバーサルデザインの視点から–

応募者のコメント

僕の住む紫野には、大徳寺や今宮神社などがあり、数多くの観光客が訪れます。その中には身体が不自由な人や外国人も見られます。僕は、これらの場所で、ユニバーサルデザインがどのように取り入れられているのかを調べ、周辺の店や交通などでインタビューを行い、マップにまとめました。このマップが紫野を訪れる人にとって、より安全に安心して観光を楽しめる手助けになることを期待します。

講評

ユニバーサルデザインという視点から見た様々な気づきがしっかりとまとめられている点を評価した。また、日本語と英語が併記されていてマップ自体もユニバーサルデザインが意識されている点も良かった。

入選　4年生・京都府京都市

京のまち安心安全くらべて!マップ～右京区・嵯峨と上京区・西陣～

応募者のコメント

わたしは嵯峨の小学校が、西陣の小学校とくらべて、自然が多く、広々としていることに、びっくりしました。でも広いと、たくさんの人が入れるけれど、移動するのが大変です。このマップで、同じ京都市内にある嵯峨と西陣という二つの学区をいろいろな方向からくらべてみることによって、一つの学区しか見ていないときよりも、それぞれの学区の良いところや良くないところ、また安心安全のポイントがよくわかるようになりました。

講評

自分の住んでいる地域と他の地域とを比較した作品。様々な項目を比較することで地域の違いを浮かび上がらせている。またこの地域を比較するコンセプトに合った表現の工夫も評価した。

入選　3年生・京都府京都市

わたしのまちの安心安全マップ

応募者のコメント

私の町にある安心安全に関するものを色を分けてわかりやすくまとめました。中でも、とてもたくさんあった消火器・交通標識・こども110番の家などをシールで全部貼り表しました。今回調べてみて、私の町に消火器や防火バケツがとてもたくさんある事に初めて気が付きました。地域の人の防災に対する努力がとてもよくわかりました。このマップをたくさんの人に見てもらい、防災に役立ててもらえるといいなと思います。

講評

地域の防火バケツの設置場所などを自分で歩いて丁寧に調べ、その結果得られた多くの情報量を色分けするなど、分かりやすくまとめている。気づきも表を使い、分かりやすく整理している点も評価できる。

入選　4年生・三重県津市

昔のことから学ぶハザードマップ

応募者のコメント

西日本豪雨で、道路が川のように流れているニュースを見ました。その道路は、昔は川である事を後で知りました。そこで、自分の地域は、昔はどのような地形で、どのような災害があったのか調べて、地域が安全かどうかマップにまとめました。工夫した点は、昔の地形や活断層を調べて、今のマップにかいた事です。また、避難所が安全かどうかも調べました。昔のことを色々調べて、地域が安全安心か分かるようにマップを作成しました。

講評

1万年前の地層と液状化との関係や津波災害史など「昔のことから学ぶ」というテーマに合った内容がしっかりと表現されている。これらの情報が図解されているとなお良い。

佳作　1年生・京都府京都市

ぼくのまちのあんしんマップ

応募者のコメント

あんしんな町は、人と人とがつながった町だと思います。あいさつをしてお話をしてたくさんの人とつながっていきたいです。ぼくは、あんしんな町づくりをこれからもつづけます。

講評

もしもの時に地域で頼れる人を顔写真入りで紹介する「他撮り型」マップで、オリジナリティがみられる。情報に偏りがあるので、地域全体を見る視点があるとなお良い。

佳作　1年生・石川県金沢市

スマイルこども110ばんのいえ～わたしのまちのあんしんマップ～

応募者のコメント

小学校に入学して警察から「子ども110番の家」を教えてもらったことをきっかけに調べてみました。「子ども110番の家」のステッカーを見つけ、撮った写真を大きな地図に貼って工夫しました。思ったより見つけるのが大変だったけど、お家の人と探してみるのが楽しかったです。「子ども110番の家」を調べてみて、学校の友達や、お父さんお母さんにも、安心マップをもっと知って欲しいと思いました。

講評

自身が写る写真を駆使しながら、自らがレポーターのようになって身近な地域の「こども110番のいえ」を紹介するスタイルがユニーク。

佳作　4年生・広島県広島市

Shelter around Kokutaiji2-chome Hiroshima city.

応募者のコメント

比較的災害が少ない広島で、今年の夏に西日本豪雨が発生し、多くの犠牲者が私が住む広島市でも出ました。ここ数年、広島には多くの外国人観光客が訪れ、他の都道府県と違い、欧米の方がアジア圏の方よりも多く訪れていることを知りました。そこで、その人たちが言葉が分からなくても建物や場所を見ると一目で避難場所と分かる地図を作ろうと思い、家族でこの地図を作りました。

講評

災害時に外国人観光客が使える避難所や病院などを調べた。視野の広さが評価できる。さらに詳しい情報が盛り込まれるとなお良い。

佳作　5年生・広島県広島市

僕の近所の危険な場所

応募者のコメント

広島県では、7月の西日本豪雨で109人が亡くなりました。ぼくの家は、標高30メートルの丘を造成した住宅街にあります。父がよく「ここは地盤が固いから大丈夫」と、言っていましたが、西日本豪雨の後、心配になってきました。ハザードマップを見るとぼくの家の二軒先に「土砂災害崩壊危険箇所」があって、とてもおどろきました。なだらかな地形なのになぜ。昔からこの地区に住む近所の森原さんと歩いて調べました。すると、造成する前からあった家をそのまま残した所と、新しく造成した所が混ざり合っていました。さらにハザードマップを重ねてみると、土砂災害崩壊危険箇所は、昔からの家を残した所だとわかりました。安全そうにみえる所にも危険がひそんでいました。大雨の時は、危ない所を通らない、早めに避難しないといけないと思いました。

講評

空中写真などの資料やフィールドワークを駆使して自分の家の周りの地形や歴史について良く調べられている。表現に工夫があるとなお良い。

佳作　2年生・石川県加賀市

クマしゅつぼつマップ

応募者のコメント

同じ小学校に通うお友達のランドセルに、大きな鈴が付いているのを見つけたのが地図を作るきっかけとなりました。なぜ付いているのか聞くと、通学路にクマが出ることがあるということでした。私の住む地域では学校からのお知らせメールやニュースでもクマが出没したと取り上げられることがあります。そこで、小学校までの通学路のクマ目撃情報を調べマップにまとめました。

講評

熊の出没情報がその地点の写真とともに紹介されていて分かりやすい。内容に合わせた表現の工夫があるとなお良い。